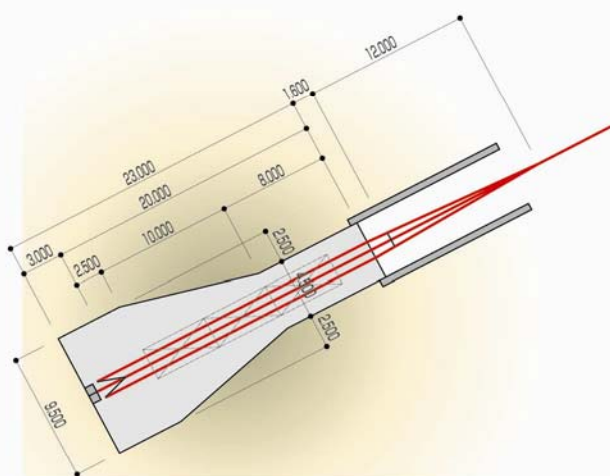


岩着式アンカレイジ

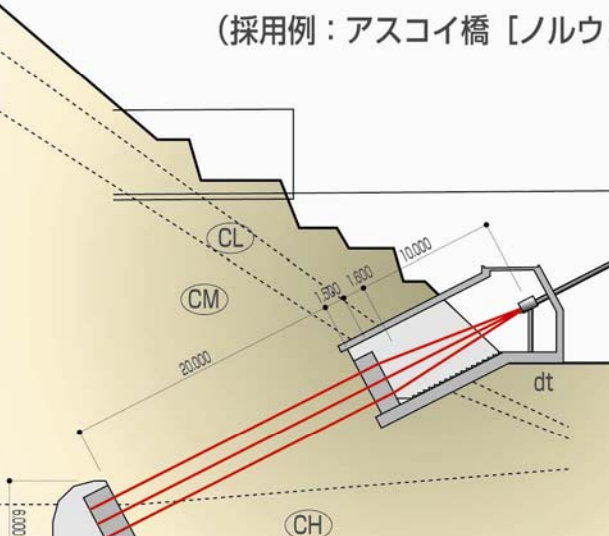
- ## トンネルアンカレイジ（従来案）



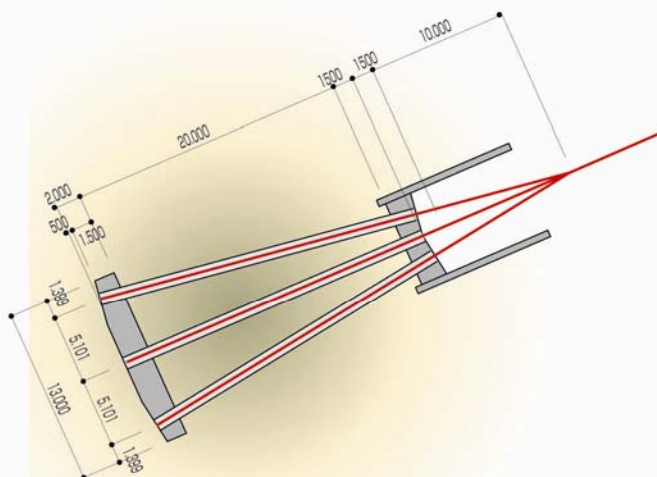
岩着式アンカレイジ（採用案）

岩着式アンカレ

(採用例：アスコイ橋 [ノルウェー]、



6000
6500
20000
10000
dt
CL
CM
CH

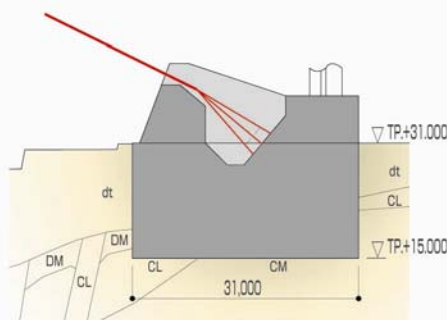
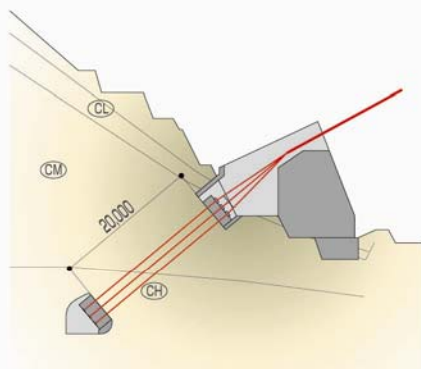


空中スプレー方式

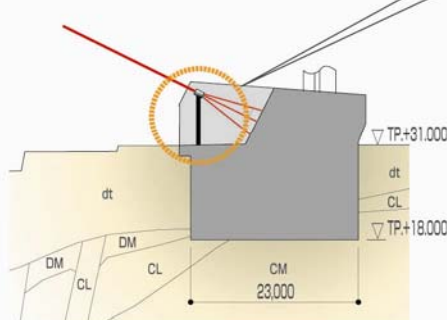
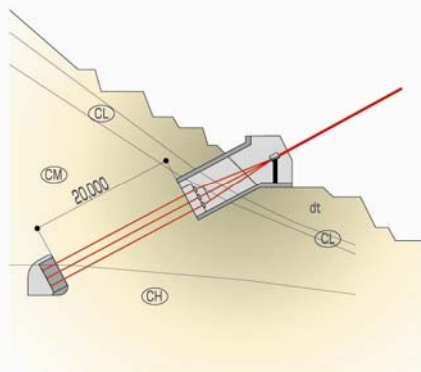
コスト削減額 ▼6.1億円



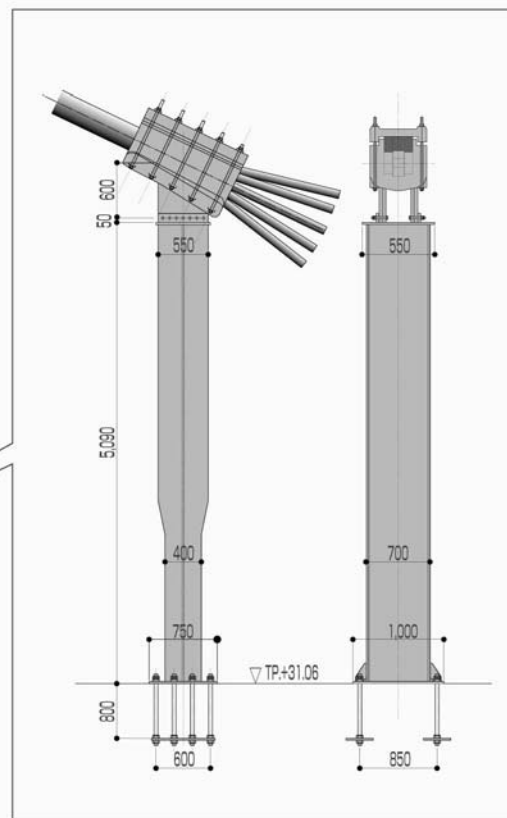
- 本橋は、単径間吊橋形式でケーブルスプレー点を桁下に設けることが可能であること、橋梁規模が比較的小さいことから、スプレー点でケーブルを折らない**空中スプレー方式**を採用しました。これにより**アンカレイジの縮小化**が図られています。



RCサドルベントを有するアンカレイジ（従来案）



空中スプレーによるアンカレイジ（採用案）



鋼製ベント

世界初!!

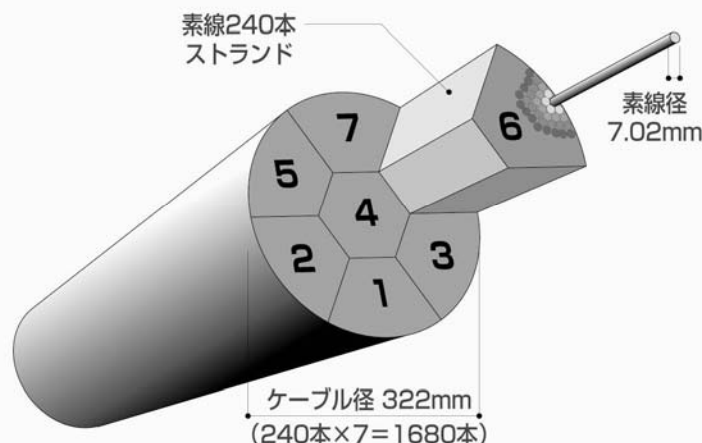
7mm径の素線

コスト削減額 ▼1.0億円



- ケーブル断面積が小さいことから、経済的なAS工法を採用しています。
- 従来は（下津井瀬戸大橋など）5mm径の素線を用いていますが、工費の削減、架設工期の短縮を図り**7mm径の素線**を採用しました。

(7mm素線 7.02mm × 1680本 [1ケーブルあたり])
(5mm素線 5.05mm × 3248本 [1ケーブルあたり])



吊橋で
国内初!!

モノセル構造

コスト縮減額 ▼1.3億円



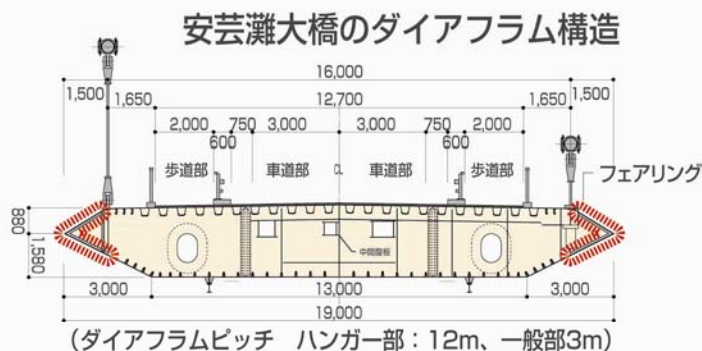
- 安芸灘大橋の補剛桁では、2セル構造の桁を採用しましたが、本橋では中間腹板のない**モノセル構造**を採用しました。吊橋におけるモノセル構造の採用は国内初です。この構造を採用することで、**1.0億円**のコスト縮減できました。
- ハンガー位置を**トラス構造**、中間部を**ラーメン構造**としたダイアフラム構造を採用することで、**0.3億円**のコスト縮減できました。

世界初!!

水平プレート

コスト縮減額 ▼1.7億円

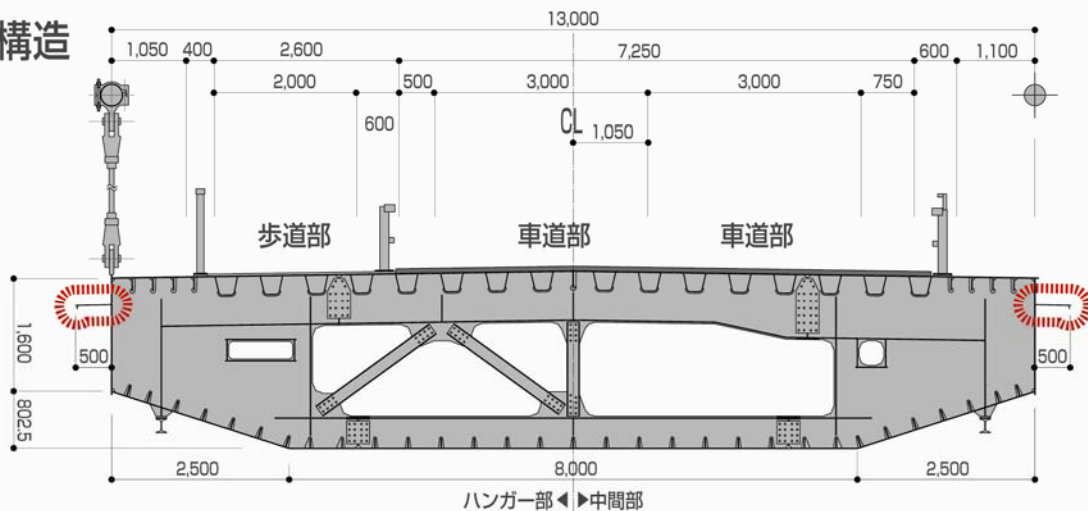
- 桁の耐風対策とし、従来のフェアリングではなく、**水平プレート**を採用しました。この構造を採用することで、死荷重の軽減(約220tの軽減)、維持管理の容易さ、コスト縮減ができました。



- 本橋のダイアフラム構造 (モノセル構造)

- 水平プレート
6mm厚の鋼板・リブ付き

- ダイアフラムピッチ
ハンガー部 15mピッチ
一般部 3mピッチ



吊橋で
国内初!!

桁内除湿

コスト縮減額 ▼1.2億円

- 国内の吊橋では初めて、**桁内除湿機を設置**して、内面防錆を図ることで内面塗装を省略しました。